



みんなで取り組む
千葉の教育

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話 043-223-4015

令和4年度

グローバル体験事業

を開催

県教育委員会では、8月24日（水）～26日（金）に、県立高校の生徒と外国人留学生が交流会を行う「グローバル体験事業」を開催しました。

県立手賀の丘青少年自然の家（柏市）を利用し2泊3日で行い、当日は日本に滞在する外国人留学生12人を迎え、県立高校11校から生徒49人が参加しました。留学生とのさまざまな交流を通して、英語によるコミュニケーション能力を高めたり、異文化理解を深めたりすることができました。

1日目



【オープニングセレモニー】



【自己紹介】



【チームビルディング】



【野外炊飯】



3日間のスケジュール

1日目

- ・オープニングセレモニー
- ・自己紹介、アイスブレイクゲーム
- ・チームビルディング
（チーム名とフラッグ作成）
- ・留学生へのインタビュー
- ・野外炊飯
- ・日本文化を紹介
- ・世界の遊びを紹介

2日目

- ・屋外アクティビティ
（単語ゲーム等）
- ・留学生が母国を紹介
- ・留学生の日本での困りごとを解決
- ・プレゼンテーション準備

3日目

- ・グループプレゼンテーション
- ・フェアウェルセレモニー

2日目



【留学生が母国を紹介】



【屋外アクティビティ】

3日目



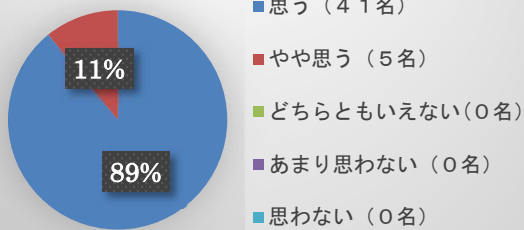
【グループプレゼンテーション】



【フェアウェルセレモニー後、修了書を持って全員で記念撮影】

参加者の声 ～事後アンケートの結果～

① 3日間の活動を通して、語学力の向上につながったり、話すことへの意欲を高められたと思いますか。



② 3日間の活動を通して、異文化理解を深められたと思いますか。



- ・ 不安な気持ちでいっぱいでしたが、海外文化に触れたり英語をもっと学びたいという気持ちが向上しました。留学に興味があったので、今回の体験がきっかけで日本だけでなく、より世界に興味を持つことができました。
- ・ 一日中英語を聞いたり話したりする機会は無かったので、とても素晴らしい体験ができた。また、色々な学校の人や留学生と触れ合うことができ、コミュニケーションをするのがとても楽しかった。
- ・ 留学生の母国紹介では新たに知ることが沢山あって、とてもおもしろかったです。プレゼンテーションではお互いの意見を英語で表現し交換したため、伝えるのが難しいときもありましたが、仲間と諦めずに表現することができてとても楽しかったです。

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話 043-223-4177

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス（目次）をクリックすると対象のページへジャンプします。

インデックス(目次)	頁
令和4年度グローバル体験事業を開催	1、2
インデックス&ミニ・トピックス	3
心のバリアフリー教育の推進	4
令和4年度第5回千葉県教育委員会会議（定例会）について	5
県内学級担任紹介 （香取市立佐原中学校）	6
工業高校生の「ちばテク」見学 および体験会	7
学校図書館・公立図書館連携研修 会を開催しました！	8
2022活躍が期待される少年・ 少女「チームちば」の紹介	9
イベント情報	別冊

「東京 2020 オリンピック」記念品を贈呈いただきました（7月20日）

東京2020オリンピックに、ハンドボール男子日本代表のコーチとして出場した、県立土気高等学校卒業生 舍利弗 学（とどろき まなぶ）さんが母校を訪問しました。少しでも多くの子どもたちに、日本で開催されたオリンピックの「思い出」を持ってほしいとの思いから、オリンピック参加の記念プレート等を贈呈いただきました。



詳しくは、こちら↓

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2022/220720.html>

県教委 NEWS



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール：https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。](#)（ここをクリック）

心のバリアフリー教育の推進

< 今年度の取組等紹介 Vol.5 >

「あすチャレ！」実践について

日本財団パラスポーツサポートセンターと連携して、児童生徒がパラスポーツを体験すること等を通して、共生社会を考える深い学びの機会を提供する「あすチャレ！」プログラムの実施校での様子について紹介します。

あすチャレ！スクール（パラスポーツ体験型出前授業）

実施校	市川市立大洲中学校：2年生約150名
講師紹介	<p>【車いす陸上プログラム】 <small>ながお よしふみ</small> 永尾 嘉章 講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック日本人最多となる7大会出場 ・アテネパラリンピック日本選手団主将 ・4×400m（T53/54クラス）銅メダル獲得 ・100m（T54クラス）日本記録保持者



銅メダルを見せてくれた永尾講師

パラアスリートのハイパフォーマンスを生で見たり、パラスポーツを体験したりすることで、「すごさ」「かっこよさ」「楽しさ」「難しさ」を感じることが出来ました。

また、講師がパラスポーツを通じて得た経験・教訓を交えながら、「他者のことを自分ごととして考える心」「障害とは何か」「可能性に挑戦する勇気」「『夢』や『目標』を持つ力」について、生徒と一緒に考えました。



デモンストレーション



競技用車いす体験
(重量体感)



競技用車いす体験
(速度計測)



競技用車いす体験
(クラス別リレー)

生徒の感想

- ・永尾講師のデモンストレーションを生で見てもかっこよかった。
- ・競技用の車いすが軽くて驚いた。また、真っ直ぐ進むことやUターンが難しかった。
- ・パラスポーツをやっている人が努力を重ねていることが分かってよかった。
- ・障害者でなくても困っている人がいたら声を掛けて、助けてあげられるようにしたい。
- ・永尾講師の話聞いて、将来の幅が広がったような気がして、とてもワクワクした。

お問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話043-223-4177

令和4年度第5回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和4年8月17日（水） 議案及び報告は以下のとおりです。

＜ 審 議 事 項 ＞

（報告・議案）

- 第10号議案 令和5年度千葉県県立高等学校第1学年生徒募集定員について
- 第11号議案 令和5年度使用千葉県立千葉中学校教科書の採択について
- 第12号議案 令和5年度使用千葉県立東葛飾中学校教科書の採択について
- 第6号報告 市町村立中学校長の人事について
- 第13号議案 千葉県県立学校チャレンジ応援基金条例の原案について
- 第14号議案 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の原案について
- 第7号報告 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の原案について
- 第15号議案 学校職員の懲戒処分について
- 第16号議案 学校職員の懲戒処分について
- 第17号議案 学校職員の懲戒処分について

[お問い合わせ先：043-223-4004 企画管理部教育総務課]
ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/press/2022/040817-2.html>（第5回結果）

◆◆◆教育委員の活動（8月）◆◆◆

第2回 人事管理研修会



開会式で挨拶をする
井出教育長職務代理者

令和4年8月12日（金）、第2回人事管理研修会が総合教育センターで行われ、井出教育長職務代理者が出席しました。

開会式では、「今後も千葉県には教育に対する熱意はもちろんのこと、人間関係の構築や物事に対する柔軟性、法令遵守や高い人権意識をもちあわせている人材が必要である」と、参加者に向けて挨拶をしました。

県内学級担任紹介

教育実践が優秀で熱心に子どもたちの指導に当たっている学級担任を紹介します。
また、学校での実践や授業で活用できる工夫を併せて紹介します。

学校名：香取市立佐原中学校



担任名：かの 閑野 ゆうひ 勇飛

教員経験：8年

学級経営での「やりがい」

「居心地よい教室」を意識し、温かい声掛け、掲示物、学級通信に力を入れています。生徒の成長を、誰よりも近くで見られることがやりがいです。

授業で心掛けていること

授業でしか味わえない「学ぶことの楽しさ」を生徒が実感できるように、「考えるための時間」と「生徒の考え」を大切にしよう心掛けています。

私の好きな「こ・と・ば」

『笑顔』 全員が笑顔で過ごせるように…学級、学年で大切にしています。

【メディアと言葉の結びつき】

単元のねらいに迫れるように「1人1台端末」を活用しています。手元の端末でメディア情報を確認することで、より身近なものとして情報の価値や意図を理解することができ、「メディアと言葉の結びつき」についての考えを自分の言葉でまとめることができました。

学習の要点は画面共有で示すことで、各自の学びを止めない活発な表現活動ができました。教室のモニターを活用することで、個人→全体の活動を円滑に移行できるのも利点です。



教室のモニター活用の様子

この件についてのお問い合わせ先
企画管理部教育政策課
電話043-223-4015

工業高校生の「ちばテク」見学および体験会

8月31日（水）に、県立千葉工業高等学校 情報技術科の生徒10人が「ちばテク」見学および体験会に参加しました。当日は、県立船橋高等技術専門校（ちばテク船橋校）を会場として、ちばテクの設備や実践的な訓練内容を見学・体験しました。

※ちばテクは、テクノインストラクターのきめ細かい指導により、実社会に役立つ技術・技能を身に付けることができる県立の職業能力開発校です。（県内に6校あります。）

見学・体験

「冷凍空調設備科」 エアコンや冷蔵冷凍機器の原理の説明を受け、普段は見るできない内部構造を見学しました。



「システム設計科」 スマートフォンやWebアプリに使用されるプログラムについての説明を受け、タブレット端末を用いた機器の遠隔操作体験をしました。



「機械技術科」 金属を切削する旋盤やフライス盤の説明を受け、NC工作機械による加工の実演を見学しました。



「金属加工科」 金属製品を加工するため必要不可欠な溶接について、実物を用いた説明を受けました。



参加者の声



参加者した生徒からは、

「最先端の機械が多くてびっくりした」
「改めて、工業技術って面白いなと思った」
「工業の知識・技術をさらに深められると感じた」
「進路の選択肢が広がった」

といった声を聞くことができました。

お問い合わせ先 教育振興部学習指導課 電話043-223-4058

学校図書館・公立図書館連携研修会を開催しました！

学校図書館・公立図書館連携研修会とは…

学校図書館と公立図書館の効果的な連携の在り方について考え、学校図書館を活用した授業の推進や子供の読書活動の推進を図ることを目的に開催しています。今年度は、8月1日（月）に東上総教育事務所管内の学校図書館・公立図書館関係者128名が集まり、研修会を実施しました。

講演会

立教大学兼任講師の中山美由紀氏をお招きして「公立図書館との連携による学校図書館機能の充実に向けて」というテーマでご講演いただきました。



千葉県マスコットキャラクター チーバくん



実践発表

令和4年度子供の読書活動優秀実践校・図書館による実践発表を行いました。



流山市立八木南小学校



県立銚子高等学校



市川市立第一中学校



旭市図書館



図書の活動に力を入れている学校の実践を聞くことで、自分達の課題をより実感できた。



子供が活躍する、子供の主体性を育む学校図書館・学校教育という視点で改めて見ると、子供たちと一緒にできる活動が学校図書館、公立図書館とも沢山あると感じました。



勤務校の図書館経営と理想的な活用を比較することができた。連携すると学校図書館の機能が充実することがよく分かった。



GIGA スクール構想に関連して、図書館運用のアカウントを作成するというのは目から鱗だった。対生徒だけではなく職員間でも大変有効な手立て。どの実践もうまく本校でも取り入れられないか、といろいろ考えさせられることになる講演でした。

グループ討議

学校図書館関係者と公立図書館関係者が一つのグループになり、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、わたしの地域でできること～図書館の活用を通して～」というテーマでグループ討議を行いました。

講演では新しい取り組みをたくさん知ることができた。また、グループ討議では、いろいろな取り組みを知ることができて、有意義な時間となった。とても勉強になった研修会でした。



グループ討議で市立図書館との連携を話し合う機会があり、よかったです。

市の司書の方と意見交換ができたのはとても有意義でした。

県立図書館による情報提供

県立図書館が学校向けに行っているサービスについて情報提供を行いました。ぜひ、活用してみてください。



お問い合わせ先：教育振興部生涯学習課
電話 043(223)4072

★★★2022活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介★★★

基本目標4【施策11】「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進
2022活躍が期待される少年・少女「チームちば」の紹介

第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けて、「チームちば」の活動が本格的にスタートしました。男女総合成績（天皇杯得点）入賞に向け、「チームちば」の若き選手たちの活躍を紹介します。



サッカー

関東ブロック予選結果
千葉県対茨城県（1-1 PK 5-3）
会場：駒沢オリンピック公園
総合運動場 陸上競技場

写真はサッカー少年男子（U-16）
千葉県代表チーム

第77回国民体育大会関東ブロック大会サッカー競技が8月13日から14日にかけて、東京都駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場・第2球技場で開催されました。

今年度の少年男子チームは、県立生浜高等学校の田中章太郎監督のもと、Jリーグクラブチームの柏レイソルU-18とジェフユナイテッド市原・千葉U-18、流通経済大学付属柏高等学校を中心に、チームを構成しました。

代表決定戦は、群馬県を2-1で破った茨城県との対戦となりました。前評判では千葉県が有利と思われましたが、前半開始直後は緊張からか全体的に少し硬さがあり、ボールが落ち着かない状況も見られました。試合が進むにつれ、ボールを保持しながら、徐々にペースを握りチャンスを作り始めましたが、決定機には至らず、ゴールを奪うことができませんでした。それに対して、茨城県はボールを奪ってからカウンターで何度かチャンスを作り、前半15分に一瞬の隙を突き、カウンターからゴールを決め、茨城県が先制しました。その後も一進一退の攻防が続く中、前半32分にCKのこぼれ球を押し込み同点として、前半を折り返しました。後半に入り、選手交代などで、流れを変え、逆転を試みるものの、ゴールは奪えず、試合は、両GKの好守もあり無得点に終わりました。勝負は、PK戦の末5-3で勝利を掴み、「いちご一会とちぎ国体」の出場権を獲得しました。

この関東ブロック大会で得た「チームの結束力」と「粘り強さ」を武器に、栃木国体での活躍を期待しています。

中学生・高校生が出場し関東ブロック大会を通過した競技

サッカー	ボート	ボクシング
バレーボール	体操・新体操	バスケットボール
ハンドボール	ソフトテニス	卓球
馬術	バドミントン	柔道
弓道	ライフル射撃	剣道
スポーツライミング	カヌー	アーチェリー
空手道	なぎなた	ボウリング
ゴルフ	ラグビー	

23競技が激戦区である関東ブロック大会（少年種別）を見事に突破し、千葉県の競技力の高さを示すことができました。そして、いよいよ9月10日から【水泳・体操・バレーボール・弓道（会期前競技）】を皮切りに「いちご一会とちぎ国体」が始まりました。

「チームちば」一丸となり男女総合成績（天皇杯得点）6年連続入賞、女子総合成績（皇后杯得点）12年連続入賞を目指します。

お問い合わせ先：スポーツ・文化局
競技スポーツ振興課
電話 043-223-4104